



株式会社 島津製作所

広報室

梶谷 舞さん
西本 恵さん



梅雨の束の間、晴れた七月初旬、株式会社島津製作所本社に社員選手として島津製作所テニスチーム（SHIMADZU Breakers）でプレイをする西本さんと梶谷さんを訪ね、お話を伺いました。

（株）島津製作所は、一八七五年創業の京都を代表するグローバル企業で「科学技術で社会に貢献する」を社是として、分析・計測機器、医療機器、航空機器、産業機器などを事業の中心としています。また二〇〇二年ノーベル賞

受賞者である田中耕一さんを輩出されています。
島津製作所テニスチームは、スポーツを通して「人と地球の健康」へ貢献したいという願いを込め、特にテニス振興を目的に、地域社会へ貢献していくことを目指しています。

また、島津全日本室内テニス選手権大会は、日本のテニス大会としては二番目に長い歴史を持つ大会です。

始めにお二人がテニスを始めたきっかけを伺いました。広島県出身の西本さんは、お父さんの転勤の為に引っ越しが多く、誕生日のたびに増えていった習い事の中で友達つくりと本人が夢中になれるモノという理由から七歳の誕生日にテニススクールに入門をした時にとても楽しかったので続けたとのこと。一方、大分県のテニス一家に生まれた梶谷さんは、お父さんが経営するテニススクールで三人のお兄さんとテニスをすることが当たり前の環境で育ち、しかもテニススクールの名前「ロブ」（テニスのショットの呼び名）から名前をもらい、『まるでテニスの為に生まれてきたようだ』とジュニア選抜時代から親交があった西本さんも感じたとのことでした。始めた頃は毎日が練習で友達と遊べずに辞めたいと泣いていたとのことですが、大きな大会で勝つことができたのは、ジュニア時代の頑張り・経験があつてこそ実現できたとお父さんに感謝したとのこと。
同学年のお二人は、高校の強豪校同士でよく対戦し、大学の対抗戦等でも切磋琢磨し、今や同じ企業チームでプ



梶谷さん

レイし、しかもダブルスのペアを組むという不思議な縁があったようです。
オールラウンダーでストロークが得意な西本さんとネットプレイが得意でラリーが決め技の梶谷さん（試合中にロブはあまり打たないそうです）は、国内大会の日本リーグ、都市対抗や団体でダブルスを組む（前衛・梶谷さん、後衛・西本さん）とのこと。ダブルスは大学時代からお互いのプレイスタイルを知っていたので、試合を創っていくのは西本さんで、作戦は二人で考え、アイデアを出し、最後に決めるのは梶谷さんと役割が自然と決まっていたそうです。

また、テニスの魅力を聞くと、お二人とも相手との駆け引きの面白さや打てなかったショットが打てるようになった時の喜び、メンタルの強さが重要である点、そして何より自分の感性にあつたことと言われてました。

学生から社会人になつての違いについては、梶谷さんはレベルの高い選手の中で、パワーや頭脳タイプ等いろいろなタイプと対戦することで考えさせられる様になり、対応力がついたらとのことでした。西本さんは、ミスをしないうえに我儘比べ勝負や自分から勝負を仕掛けて取りに行くなどの違いを感じたとのこと。そんな中、自らの成長のきっかけとして日本リーグで上位の選手と厳しい練習・試合をしたことが上を目指せたことだったとのことでした。

企業人とテニスプレイヤーの二足の草鞋を履くお二人は、会社では広報室に所属しており、島津製作所テニスチームSHIMADZU Breakers（島津ブレイカーズ）のWEBサイトを立ち上げ、現在はサイトのメンテナンス業務を行っています。また、会社の広告塔として国内大会参加の合間に地域貢献の一環とし



西本さん



2018年全日本選手権ダブルス

てのジュニアのテニス教室に参加したりと大忙しの中、関東・関西の事業所の社員を対象にテニスを通じたコミュニケーションを行うなど、広報活動をこなされています。

社員選手としてのお二人は業務を調整し、チームで参加する大会を選択しながら国内外ツアー大会に出場し、ランキングポイントを積み上げていくというプロ選手とは違った経験を積まれています。また、同じチームには四人のプロ選手も所属しているが、一緒に練習する機会は少なく、テニスの大会や冬のツアー大会オフシーズンにある日本リーグ（団体戦）期間中に出来るぐらいで、普段はプロ選手とは別に京都本社で社員選手だけの練習をされています。お二人にはオフシーズンがなく一年を通してのテニスをしてい

好きだからできていると言われている。

そんな忙しいお二人に休日の過ごし方や趣味などについて話を聞きました。西本さんは甘いものが大好きで、カフェ巡りで河原町周辺を中心に歩き廻ったり、カラオケで気分転換をするなど外に出る機会をつくっているとのこと。一方、梶谷さんは、身体を動かす事は好きだけど、休みの日に何をしたいのかと聞かれると、休息をとったり、TVの録画を見てリラクゼーションしていることが多く、「面白いよ」ってTVの録画を西本さんに見せても、二人の笑いのツボが違うのかスルーされる事もあるとか。また、甥っ子姪っ子とTV電話で話したりされています。このように性格も行動様式も違う二人が組むダブルスは国内でも屈指の強豪ペア。国内大会では優勝や準優勝など



職場での西本さん梶谷さん



第32回テニス日本リーグ

常に上位に入る成績を残されています。最後にテニスプレイヤーとしての今の目標を伺いました。西本さんは、一つは団体戦が好きなので、今年準優勝だった日本リーグを来年は優勝することと、全日本選手権のダブルスで優勝したいと力強く話されました。梶谷さんは、日本リーグ・全日本の大会で優勝をしたいの思いはある中、夢は大きくグランドスラム（全豪・全仏・全米）で活躍したいと控えめに話されていました。内に秘めた強い決意が感じられました。

笑顔が印象的なお二人は、アスリートとしての自覚と、しっかりとした目標を持っている女性でした。これから目標に向かって頑張り、成長して世界で活躍されることを願っています。